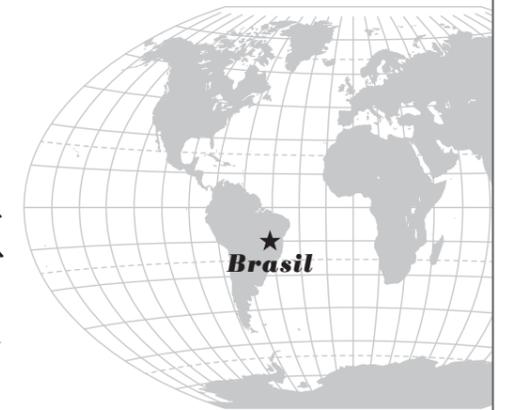


# サン・ジョゼ 最先端がん治療 センター新築工事

ブラジル戸田建設株式会社 取締役副社長

**今川尚彦**

Naohiko Imagawa



2014年1月。地下掘削状況 (GL-16m)。アースアンカー山留め工法。



2015年5月。躯体上棟、内外装工事中。



## ブラジル連邦共和国の紹介

ブラジル連邦共和国はBRICsの一角として、人口二億二〇〇万人、GDPは世界七位、豊富な資源、多様な製造業、多くの中間層が育っている南米の大国である。昨年二〇一四年は、サッカーワールドカップ開催、そして来年二〇一六年には、オリンピック・パラリンピック開催が予定されており、世界的に注目度が高まっている。

同国を語る上で、日系社会の存在を無視するわけにはいかない。一九〇八年に始まった集団移民以来、先人達が築き上げてきたジャパニーズアイデンティティはブラジル人に愛され、現在、移住者を含めた日系人総数は一六〇万人とも言われている。この一〇〇年を超える歴史の中で多くの日系企業が誕生し、スーパーインフレ等、同国の困難な時代も乗り越え、さらなる強固な日系社会が育成されている。ただ、近年は、急激な経済成長を遂げた中国をはじめ、韓国等、他のアジア諸国の同国での台頭も著しい。これからアジア諸国のみならず、欧州を含め、世界中の企業がしのぎを削っているのも事実である。

二〇〇三年から高い経済成長を遂げてきた同国であるが、二〇一一年以降は、経済成長が減速し、今年はマイナス成長が見込まれている。



サンパウロ州位置図

しかし、日本には無い、豊富な資源があり、二〇五〇年まで人口増加、二〇三五年まで生産年齢人口（一五〜六四歳）が増加すると予測されており、まだまだ、成長の可能性を持った大国には違いない。今後は産業のみならず、教育、医療においても先進国並みのレベルに成長するための設備投資、環境整備が重要となる。

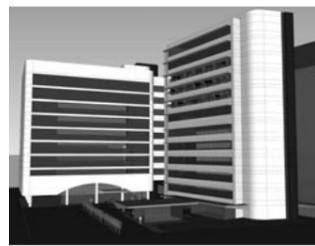
## プロジェクトの紹介

二〇〇七年に開設したサン・ジョゼ病院は、南米最大級の私立病院であるポルトゲーザ福祉病院に属し、がん、心臓病治療、整形外科、神経科を専門とする。二〇一〇年には、JCI (JOINT COMMISSION INTERNATIONAL - 世界医療施設評価機構) 認証を取得。最先端医療技術で、医療事故や院内感染を防止し、入

## 工事概要

院中の食事、待遇面においてもホテルクラスの環境を目指している。今回、がん治療をさらに充実させるために、最先端がん治療センターの建設計画が始まった。患者のターゲットは、富裕層と医療保険のA/Bクラス加入者\*としており、化学治療などが可能な入院エリアを拡充。治療設備や診察室を充実させ、万全の患者サポート体制を敷く。今回、当社が既存病棟建設以来、関係を築いてきたクライアントより、最先端がん治療センター新築工事を受注した。

今回工事の敷地周辺はマンション等の住宅が多く、既存病棟と隣接した工事であり、地下四階レベルでは、既設棟との接続も計画されている。既存病棟で通常営業が行われている中で、大深度地下工事、狭隘な敷地での工事の為、高



**建物概要**  
 構造/直接基礎、RC造  
 階数/地上12階地下4階  
 延床面積/8,619㎡  
 外科処置室/26室  
 診療室/20室  
 外壁/ブラインド内蔵ダブルスキン  
 サッシ、アルミパネル

## 終わりに

冒頭でも述べているが、ブラジルは、ここ数年、経済的に低迷する懸念が高まってきているが、豊富な資源大国という土台の上で、まだまだ、教育、医療等の伸び代が大きく、大きな可能性をもっている。

当社は、ブラジルでのビジネスを始めて今年で四三年になる。今まで培ってきたブラジル社会との信頼関係をさらに拡大していく。今回の最先端医療施設建設に引き続き、今後も、多岐にわたり、ブラジルの発展に寄与していきたい。